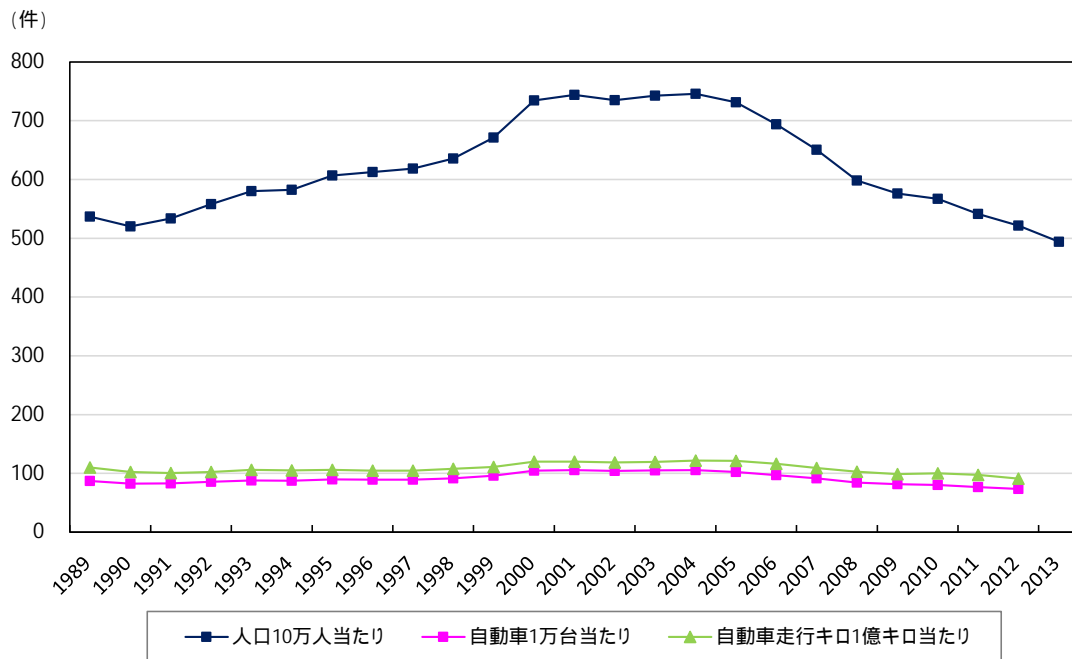
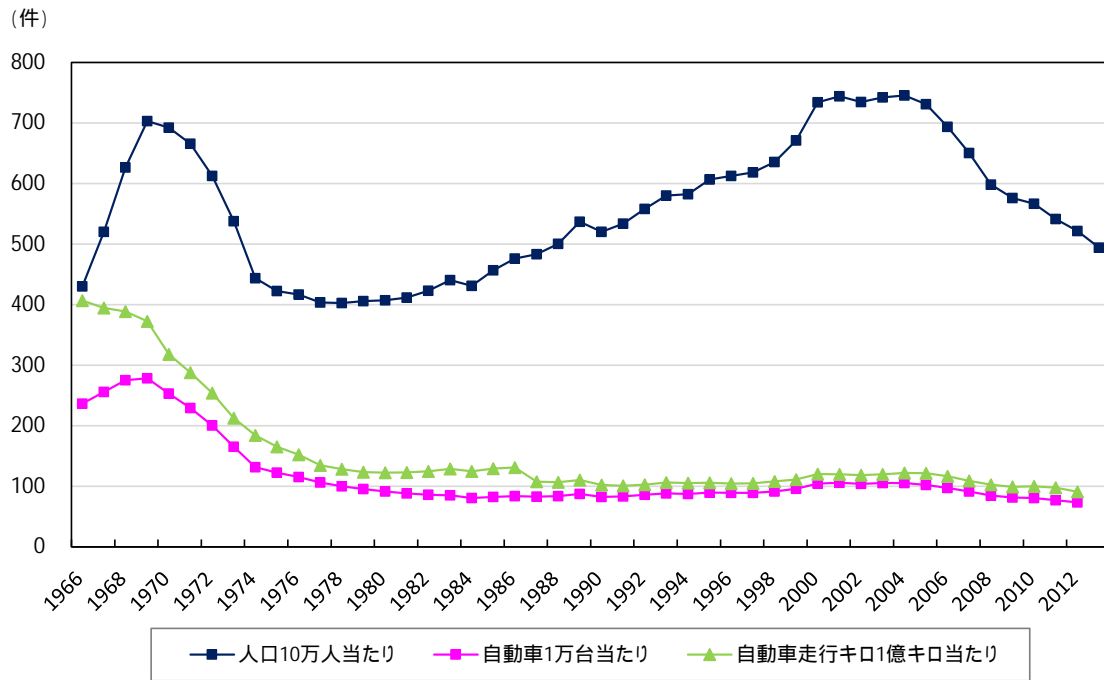


図表 3-4 人口10万人・自動車1万台・自動車走行1億キロあたり交通事故件数
 (上段：長期、下段：短期(平成以降))



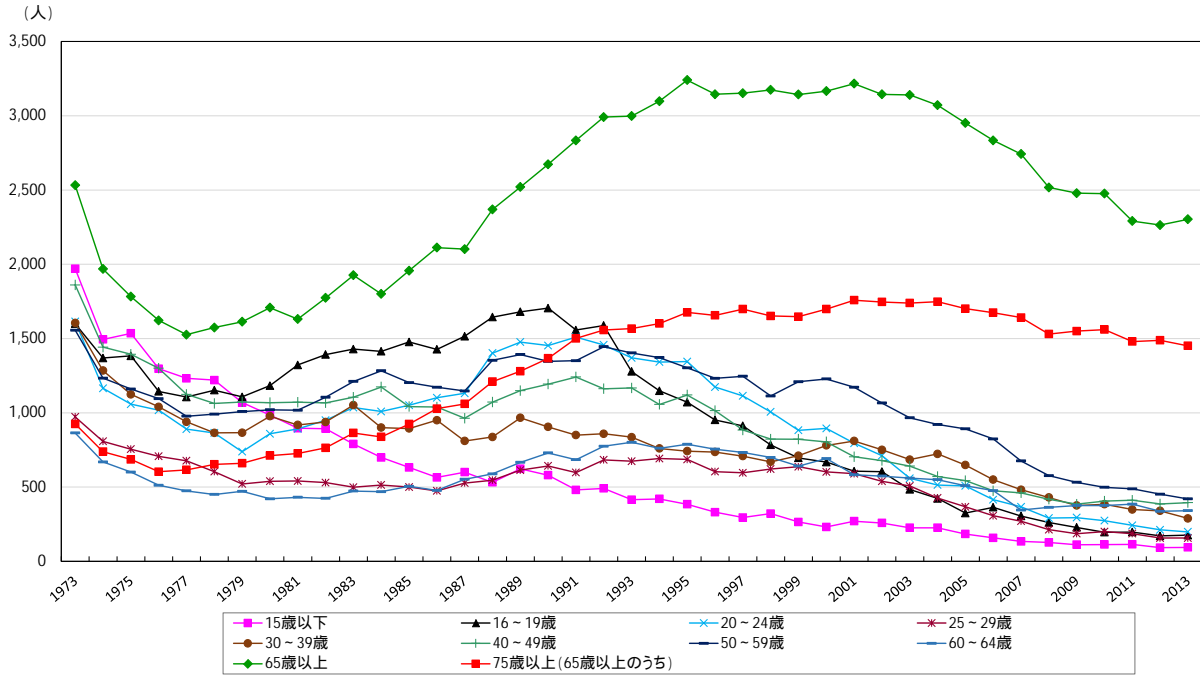
資料) 人口：人口推計(総務省統計局)による
 交通事故件数：交通統計(ITARDA)による
 自動車走行キロ、自動車保有台数：自動車輸送統計調査(国土交通省)による

4. 年齢階層別道路交通事故死者数・死傷者数

近年、交通事故死者数は全年齢階層で概ね減少傾向にあるが、2008年以降は減少率が小さくなり、下げ止まりつつある。特に65歳以上の高齢者の2013年の死者数は2,303人（前年比+39人）であり、全体の52.7%を占めている。

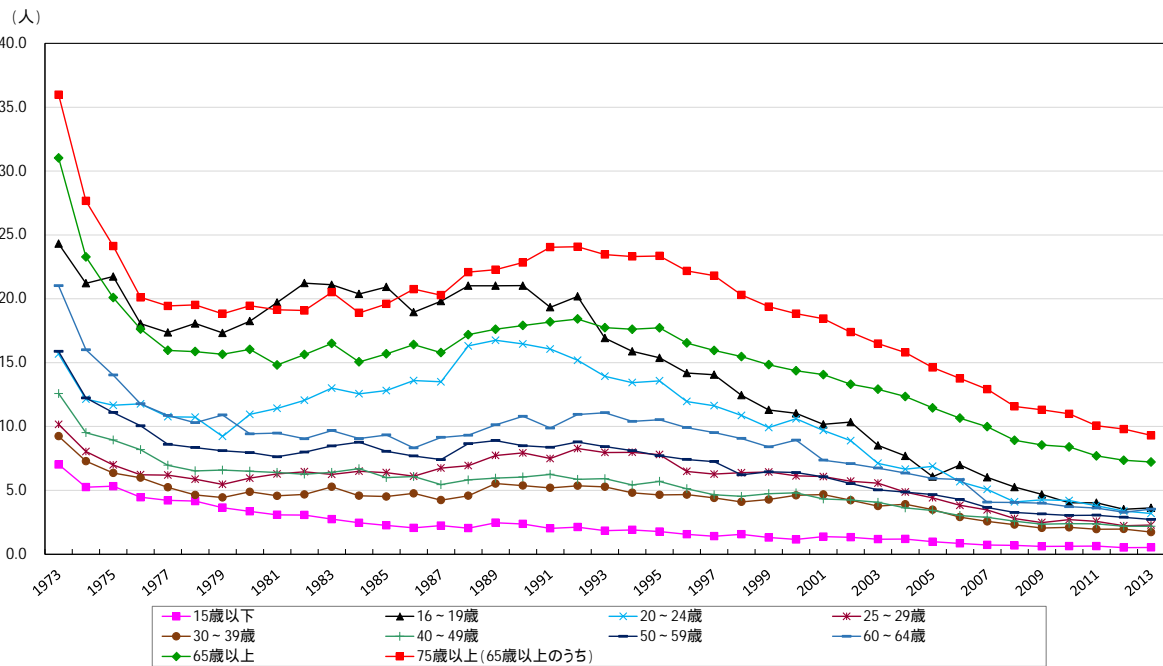
人口あたりでは2008年以降全年齢階層でほぼ横ばい又はやや減少の傾向にあり、65歳以上の高齢者の死者数が最も多くなっている。

図表 3-5 年齢階層別交通事故死者数の推移



資料) 交通事故統計年報 (ITARDA) による

図表 3-6 年齢階層別人口10万人あたりの交通事故死者数の推移

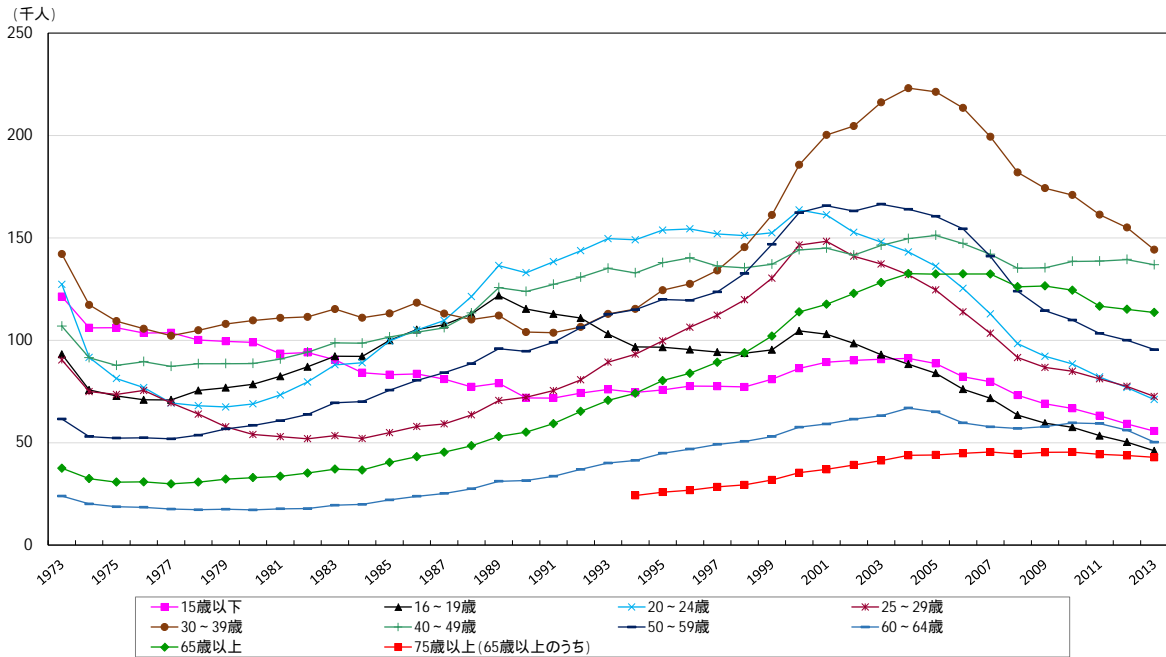


資料) 人口：人口推計 (総務省統計局) による
交通事故死者数：交通事故統計年報 (ITARDA) による

交通事故死傷者数も概ね減少傾向にあり、年齢階層別に見ると30～39歳が最も多く、次いで40～49歳、65歳以上の順に多くなっている。

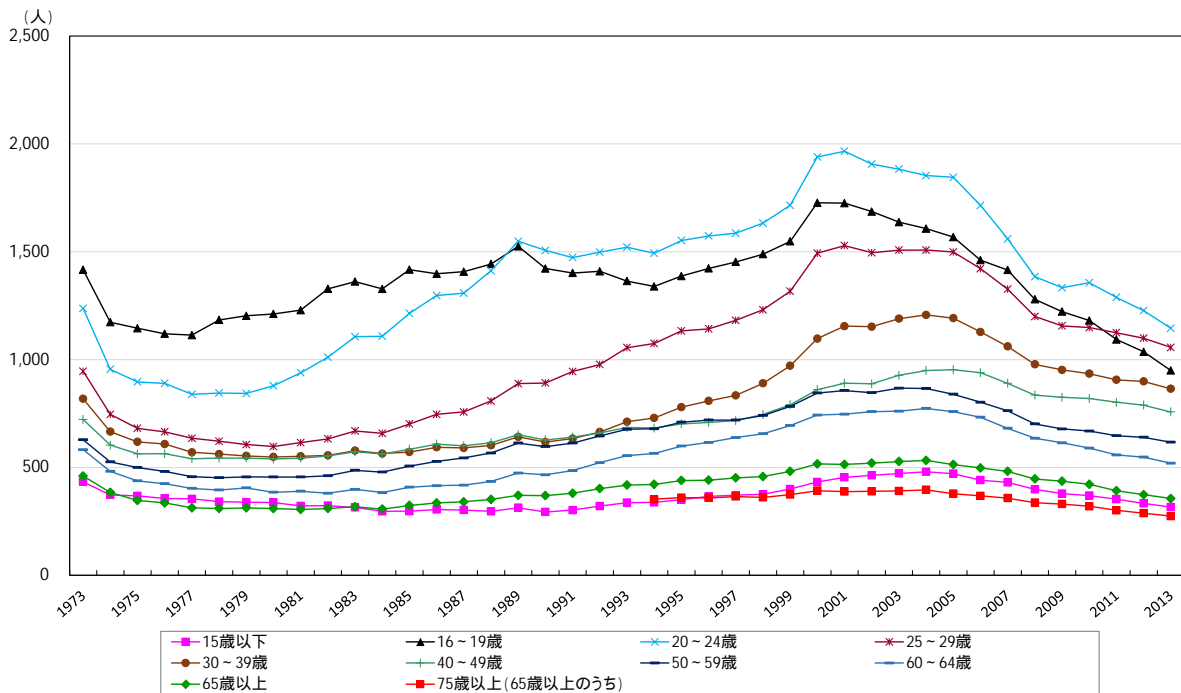
人口あたりでは20～24歳が最も多く、次いで25～29歳、16～19歳と若年層の死傷者数が多くなっている。

図表 3-7 年齢階層別交通事故死傷者数の推移



資料) 交通事故統計年報 (ITARDA) による

図表 3-8 年齢階層別人口10万人あたりの交通事故死傷者数の推移



資料) 人口: 人口推計 (総務省統計局) による
交通事故死者数: 交通事故統計年報 (ITARDA) による